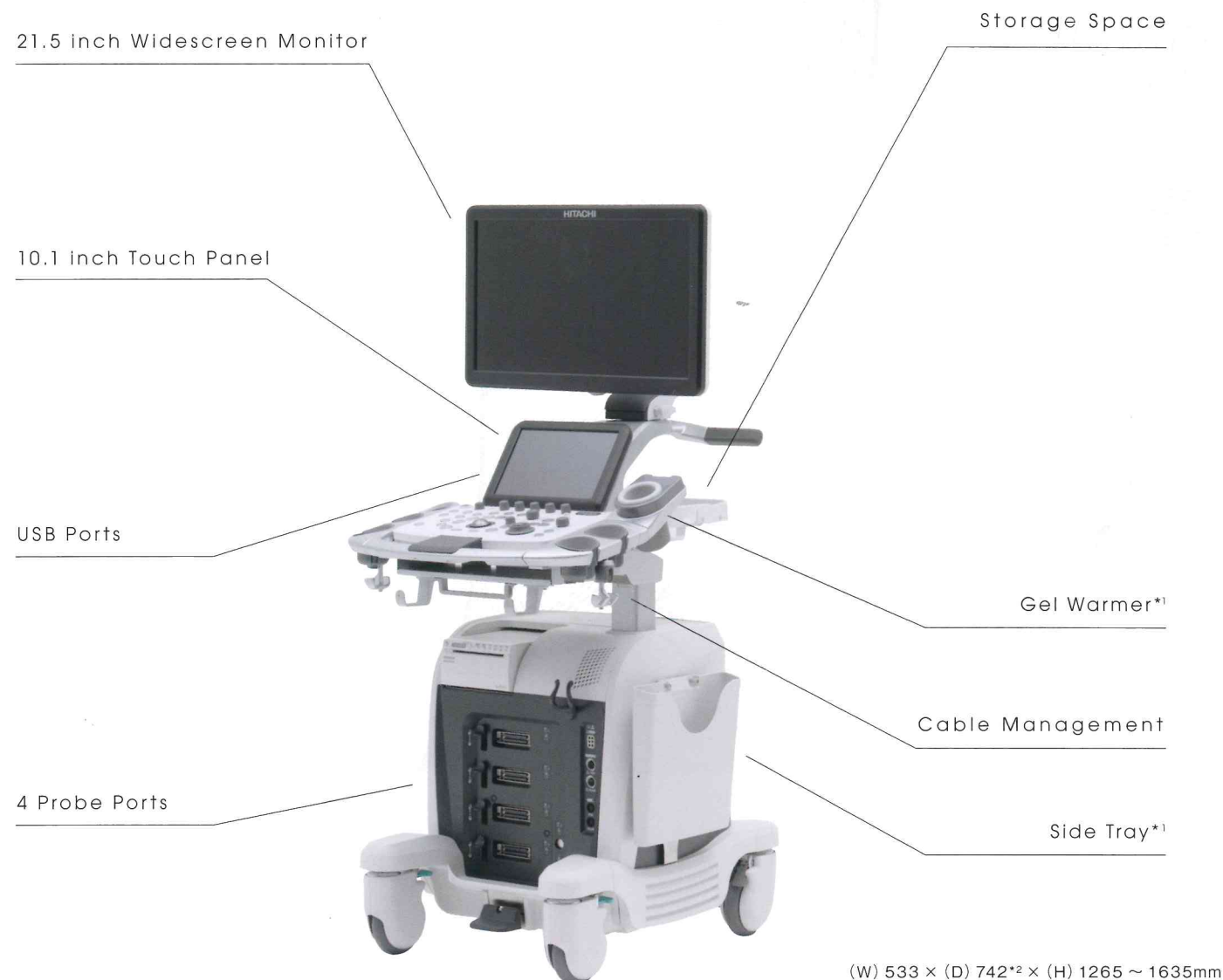




(W) 533 × (D) 742*2 × (H) 1265 ~ 1635mm
 質量 : 85kg
 HDD : 500GB
 電源容量 : 750VA 以下
 検査可能バッテリー搭載 *1

*1 Option

*2 モニターアーム折り畳み時

ARIETTA 65 について詳しくはこちら

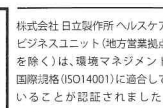
http://www.hitachi.co.jp/products/healthcare/usportal/arietta_65/index.html



Innovating Healthcare, Embracing the Future

誰もが安心・安全に暮らせる、笑顔あふれる社会へ。
 一人ひとりに最適なヘルスケアサービスの実現に
 日立はイノベーションで貢献します。

●ARIETTA, Real-time Tissue Elastography, HdTHI, HI REZは株式会社日立製作所の登録商標です。
 ●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●装置を正しく使用するために必ず「取扱説明書」をお読みください。●本機器は特定保守管理医療機器です。●構成品の集約番号、認証番号については、個別製品仕様書を参照願います。●本医療機器の販売貨主には販売業・貸与業の許可が必要です。
 販売名:超音波診断装置 ARIETTA 65 医療機器認証番号:第230ABBZX00050000号



株式会社日立製作所ヘルスケア
 ビジネスユニット(地方営業拠点
 を除く)は、環境マネジメント
 国際規格(ISO14001)に適合して
 いることが認証されました。

◎ 株式会社 日立製作所

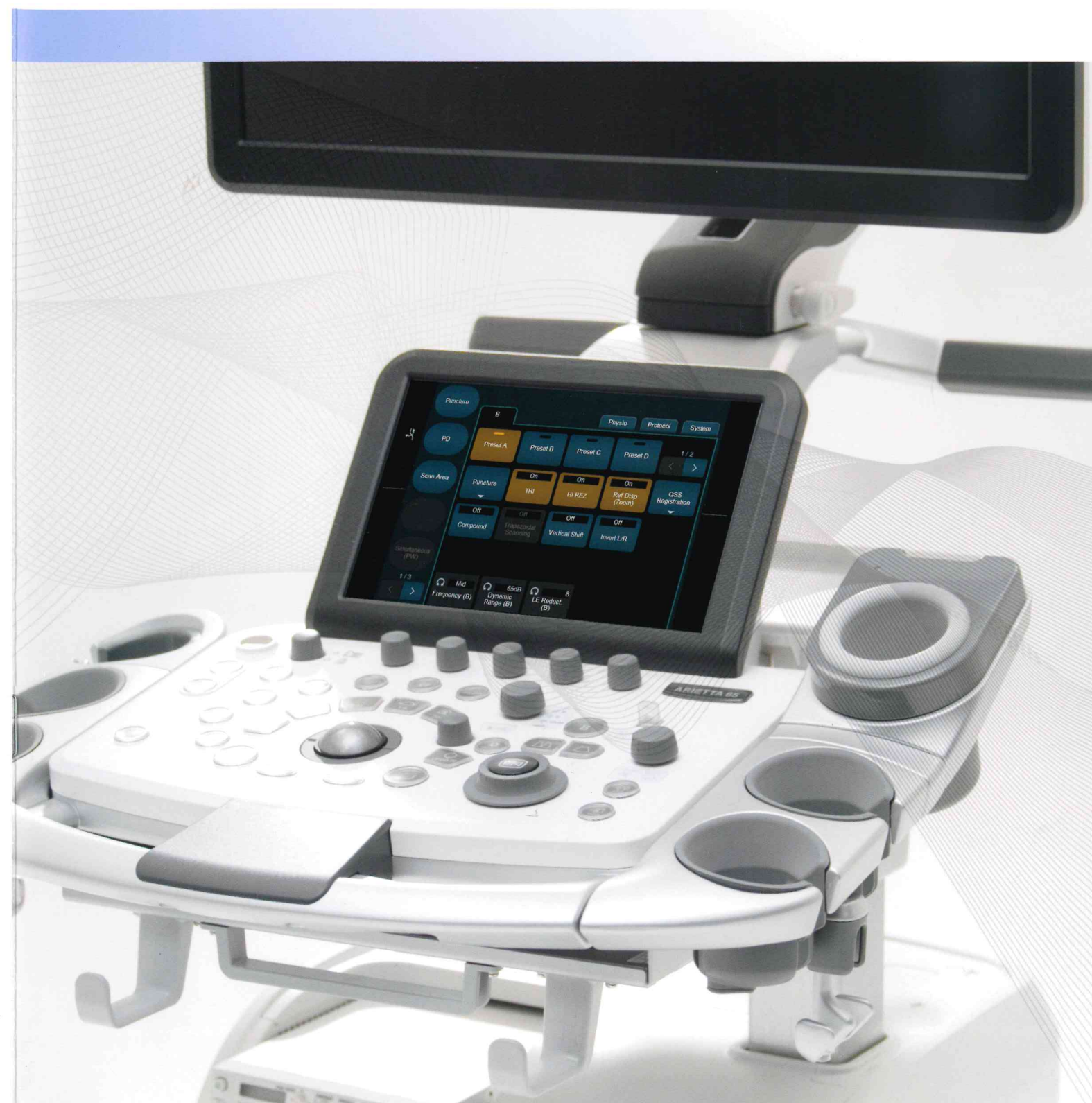
〒110-0015 東京都台東区東上野 2-16-1

BU-086

www.hitachi.co.jp/healthcare

Printed in Japan 2019-06-8K-(H)

ARIETTA 65



Streamline Your Practice

よりよい操作性が、よりよい診断を生む。



SMOOTH
WORKFLOW



再現性 →
← プロトコルアシスタント
自動計測機能
← 汎用性 →
エルゴノミックデザイン
多彩なアプリケーション

上位機種から引き継いだ
高度な画像処理技術



SUPERB
IMAGING

← 正確性 →



SIMPLE to use
APPLICATIONS

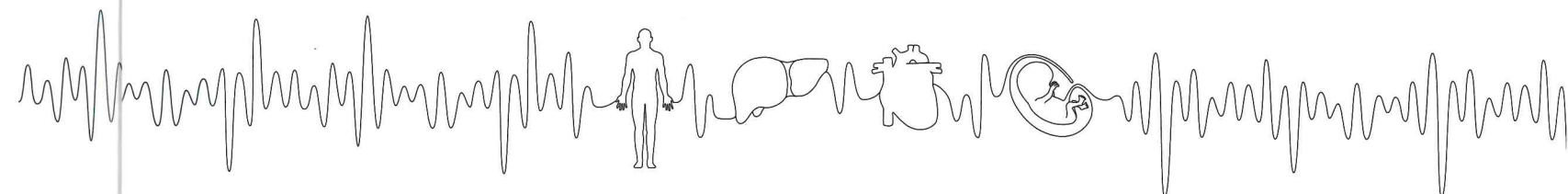
様々な診療科でかかせない超音波装置には、現在さらなる「再現性」「汎用性」「正確性」が求められています。上位機種で培った快適なワークフロー、高い画像性能、そして使い勝手の良いアプリケーションの3つをバランス良く組み合わせることで、どんな診療現場でも効率的に運用できる超音波装置ができました。これまで以上に被検者と向き合える検査を実現する。ARIETTA 65、誕生です。

ARIETTA 65

ARIETTA 65 について詳しくはこちら
http://www.hitachi.co.jp/products/healthcare/usportal/arietta_65/index.html



Sense and Visualize Ultrasound



日々の検査の
効率化をサポート



エルゴノミックデザイン

上位機種から継承したエルゴノミックデザインを採用。
検査者への負担を軽減し、快適な検査をサポートします。

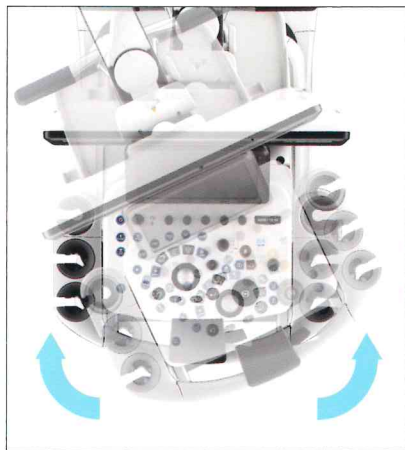
360° 調整可能なフリーアーム

モニタの角度、高さ、距離を最適な
ポジションに調整することができます。



可動域の広い操作パネル

操作パネルの向きを検査に適したポジ
ションに調整することができます。



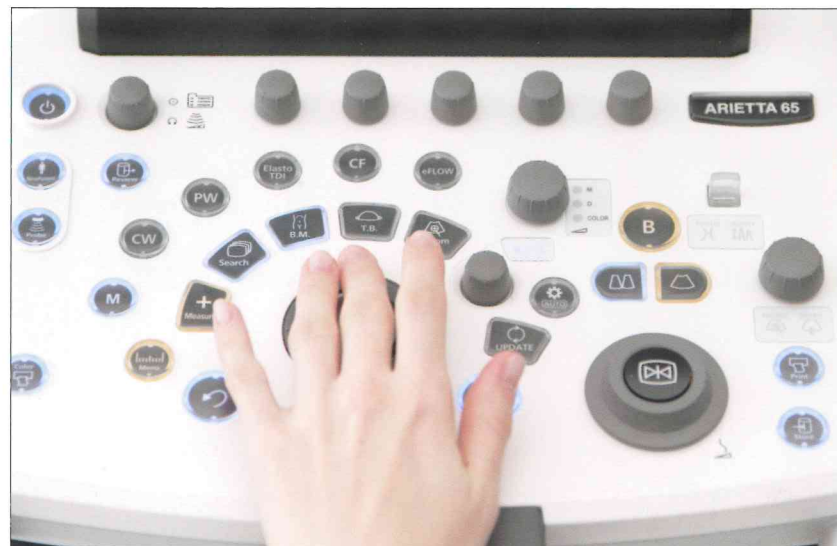
操作パネルの上下可動

様々な検査に合わせて装置の高さを
調整することができます。



操作パネル

ボタンの数を少なくするだけでなく、配置を工夫することにより、煩雑な操作や押し間違いを防ぎます。



ボタンの配置

使用頻度の高いボタンをトラックボールの
周りに集約しました。

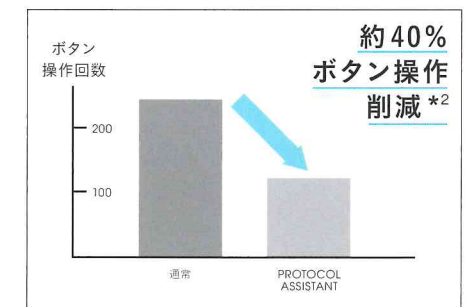
TGC

バーチャルTGCの採用により、ゆとり
のある操作パネルボタンの配置になりました。



Protocol Assistant*1

決められた検査手順を少ない操作で進めることができます。その都度行っていたポディマークやコメントなどの入力の手間
がなくなり、検査中のボタン操作が大幅に削減できることで、検査の効率が向上します。



Auto Optimizer

ワンボタンで画像の自動調整を行います。

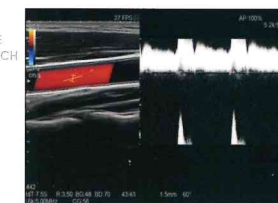
Bモード時にはゲイン、PWモード時にはベースラインの位置や流速レンジを適切な値に調節します。



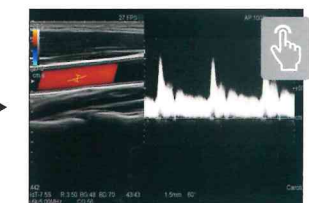
ゲイン調整前



ゲイン調整後



PW 波形調整前



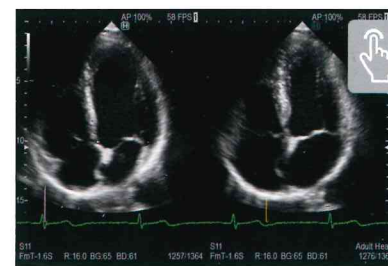
PW 波形調整後

Cardiac Functions

上位機種で習得したデータを元に循環器検査に有用な自動化機能を搭載。
スムーズに、より簡単に検査が行えます。

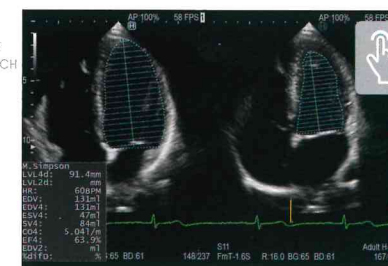
ED/ES 自動検出

ワンタッチでED/ESを自動認識し、
2画面分割表示します。



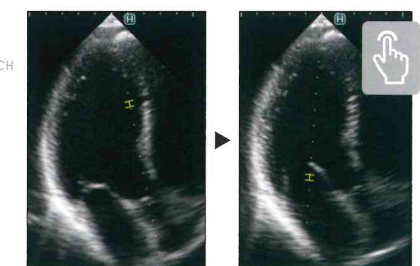
自動計測*1

心機能評価として重要なEF計測
などを自動的に行います。



サンプルゲート自動位置合わせ

サンプルボリュームのカーソル位置
を自動的に合わせます。



自動位置合わせ前

自動位置合わせ後



バッテリー搭載*1

緊急の検査や移動しての検査など、
すぐに対応しなければいけない場面でも、使用可能です。
(バッテリー駆動で検査可能)



*1 Option

*2 自社装置比較

SUPERB IMAGING

上位機種から引き継いだ
画像処理技術



HI REZ

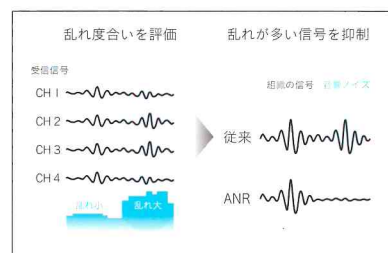
組織の境界を強調し、コントラスト分解能を向上させることで、より視認性の良い画像を描出します。

Compound Imaging

超音波ビームをリアルタイムかつ多方向に送受信し、それぞれの画像を重ね合わせます。スペクルノイズの低減や、コントラスト分解能の向上により、病変を明瞭に観察できるようになります。

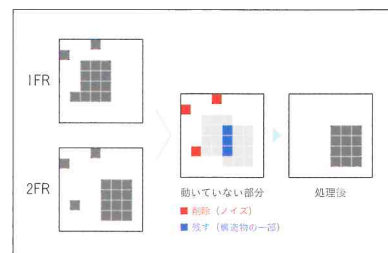
ANR Acoustic Noise Reduction

チャンネルごとの受信信号をリアルタイムに解析し、結像を乱す信号を抑制します。



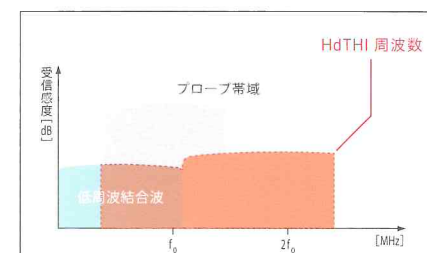
NNR Nearfield Noise Reduction

生体の動きに伴う信号変化を解析して音響ノイズを弁別除去することで、組織を明瞭に描出します。



HdTHI

ハーモニック信号を広帯域化。これにより空間分解能と深部感度が向上します。



Trapezoidal Scanning

リニアプローブ走査時も、ビームを広げて描出することで台形表示します。



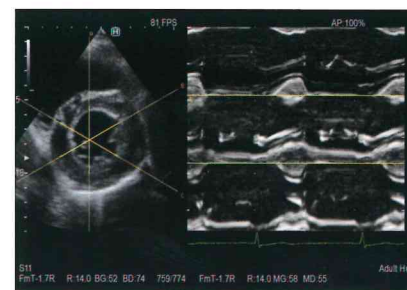
eFLOW

空間分解能が高く、微細血管においてブルーミングを低減した血流表示です。



Free Angular M-mode (FAM)*1

任意の角度で M モード画像を構築することが可能です。複数箇所 の 壁 運動 や 弁 の 動きを同一心拍において比較できます。



イメージギャラリーはこちら

http://www.hitachi.co.jp/products/healthcare/usportal/arietta_65/image_gallery/



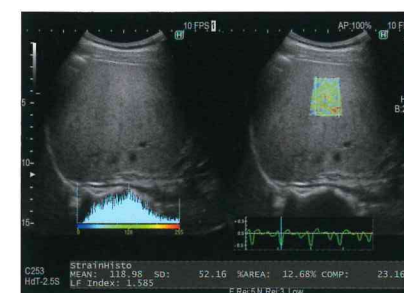
SIMPLE to use APPLICATIONS

信頼性のある検査を提供

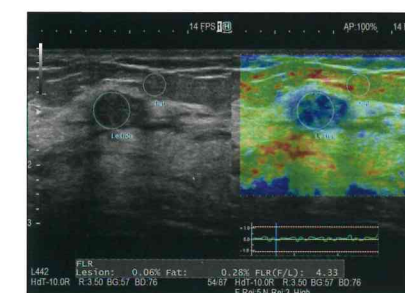


Real-time Tissue Elastography (RTE)*1

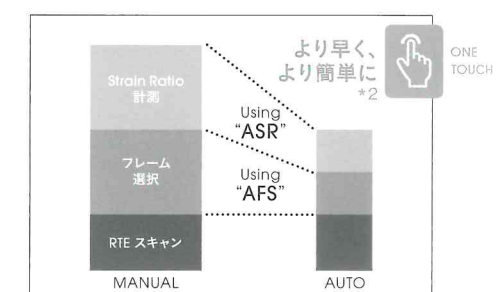
組織のひずみをリアルタイムに算出することで、硬さの違いを色付け表示します。乳腺領域をはじめ、甲状腺、泌尿器など幅広い臨床分野での応用が可能です。さらに、コンベックスプローブを用いて C 型肝炎における肝炎 Staging の推定値 (LF Index)*1 を算出することが可能です。



腹部



乳腺



自動化機能 *1 ※ AFS: Auto Frame Selection
※ ASR: Assist Strain Ratio

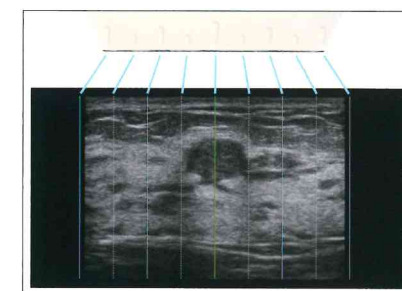
Needle Emphasis (NE)

ビームの偏向角や画像調整を自動で行い、穿刺針をより見やすくします。正確で安全な穿刺をサポートします。



マーキングアシスト

プローブヘッドのラインと一致したラインを B モード上に表示し、マーキングをサポートします。



Contrast Harmonic Imaging (CHI)*1

臨床分野にて幅広く使用されているコントラストエコーが、コンパクトな筐体で実現可能になりました。

Panoramic View*1

プローブを徐々に移動させ、広い範囲を一枚の画像に収めることができます。

Auto IMT*1

血管の長軸断層像に ROI (関心領域) を設定することで IMT を自動計測します。



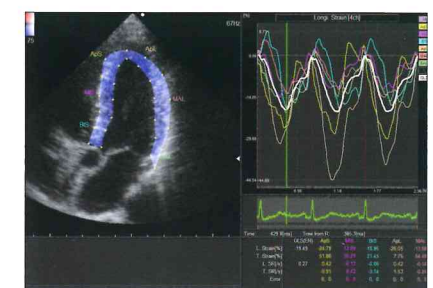
Dual Gate Doppler

同一断面で 2 箇所 の ドプラ波形を観察することが可能です。左室拡張機能指標の一つである E/e' などの計測が同一心拍で行えます。



2D Tissue Tracking (2D TT)*1

左室全体または心筋の局所運動を定量化します。超音波画像のスペクルをトラッキングすることで、心筋運動解析に有用とされます。



*1 Option

*2 自社装置比較